

令和元年度 第2回 三浦市在宅医療・介護多職種連携研修

団塊の世代が75歳となる2025年まであと6年。遠くない未来です。三浦市の人口に対する65歳以上の人の割合は、平成31年1月1日現在で39.2%であり、すでに2025年問題に突入していますが、高齢者の皆さんは元気に暮らしています。

これからますます医療需要が増えてくる中、病院や診療所に通えなくなる方のために訪問診療の需要は高まってきます。

そして、医療から介護に移行する場面、介護から医療を受ける場面を迎え、地域包括ケアシステムをしっかりと構築するためには、医療と介護の連携ネットワークがスムーズにつながるということが重要だと言えます。

地域包括ケアシステムの推進により、今後は在宅高齢者の増加が予測されます。地域で支え合う医療・福祉とは、長寿を享受した人の人生の総仕上げに立ち会う医療・福祉といえるでしょう。

そのようななか、介護を受ける方の食欲が減るということはとても心配なことです。食欲の低下など食事がとれなくなる状態が続くと、栄養が足りなくなり病気や体調不良を引き起こしてしまいます。

今回は、神奈川県立保健福祉大学より、五味郁子先生をお招きし、皆様と地域在住高齢者の低栄養と栄養ケアについて、考えてみたいと思います。

今回のテーマは

地域在住高齢者の低栄養と栄養ケア ～介護予防から訪問栄養食事指導まで～

日 時 令和2年2月14日（金） 19時00分～21時00分（解散）

場 所 ホテルマホロバマインズ三浦 本館13階 会議室

対 象 医師・歯科医師・薬剤師・看護師・准看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・栄養士・歯科衛生士・介護支援専門員・介護福祉士・介護職・社会福祉士・精神保健福祉士・社会福祉主事・その他必要とする関係者

定 員 50名（先着順）

主 催 三浦市
主 管 一般社団法人三浦市医師会
共 催 鎌倉保健福祉事務所三崎センター
協 力 三浦市地域ケア連携会議



内 容

進 行 三浦市医師会 理事 藁谷 收 先生（三浦診療所）

テ ー マ 地域在住高齢者の低栄養と栄養ケア

～介護予防から訪問栄養食事指導まで～

講 義 講 師

公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学
保健福祉学部 栄養学科 大学院保健福祉学研究科



准教授 五味 郁子先生

<ご略歴>

岐阜大学大学院 医学研究科 博士（医学）

2000年：日本女子大学家政学部食物・栄養学科管理栄養士過程 卒業

2002年：日本女子大学大学院家政学研究科食物・栄養学専攻 修了

2006年：岐阜大学大学院博士課程 修了

1999年1月：国立健康・栄養研究所 研修生（2003年3月）

2001年7月：オーストラリア シドニー中央地区ヘルスサービス（CSAHS）における臨床栄養研修
（～2001年12月）

2002年9月：慈恵医科大学付属病院栄養部（～2003年3月）

2003年4月：神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 助手

2007年4月：神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 講師

2014年3月：ベトナムハノイ医科大学 客員教授

2016年4月：現職

<専門分野>

栄養ケア・マネジメント 栄養教育、特定保健指導 高齢者の栄養ケア

講 師

神奈川県立保健福祉大学大学院

保健福祉学研究科 栄養領域

湘南おおふなクリニック管理栄養士



武富 梨紗先生

グループワーク

質疑応答

参加申込 別紙申込書用紙に、必要事項を記入の上、FAXで、下記あてお申込みください。なお、電子メールにてご案内を希望される方は、お問い合わせ先電子メールに空メールを送信してください。

申込期限 令和2年2月7日（金）

※申込期限前でも、先着50名になり次第締め切りとさせていただきます。

問い合わせ及び申し込み先

一般社団法人 三浦市医師会事務局

TEL：046-881-2376 FAX：046-881-2392

E-mail：me156301@pastel.ocn.ne.jp